

# 第 2 期草津市スポーツ推進計画 骨子案



# 目 次

第1章 計画の策定にあたって .....	4
1. 計画策定の趣旨 .....	4
2. 計画の位置づけ .....	4
3. 計画の期間 .....	5
4. 計画における「スポーツ」の定義 .....	5
第2章 スポーツを取り巻く本市の現状と課題 .....	6
1. 計画策定の背景 .....	6
2. 本市のスポーツを取り巻く現状と課題 .....	8
第3章 基本理念と基本方針 .....	25
1. 基本理念 .....	25
2. 基本方針 .....	26
3. 各主体の役割 .....	27
4. 施策体系 .....	28
第4章 施策展開 .....	29
基本方針1 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進 .....	29
基本方針2 生涯スポーツ活動の推進 .....	31
基本方針3 競技スポーツの推進 .....	34
基本方針4 スポーツ環境の充実 .....	36
基本方針5 スポーツによる地域の活性化 .....	38
第5章 計画の実現に向けて .....	40
1. 計画の推進 .....	40
2. 計画の進行管理 .....	40

# 第1章 計画の策定にあたって

## 1. 計画策定の趣旨

本市では、平成28年3月に「草津市スポーツ推進計画」（以下、「第1期計画」という。）を策定し、『“ALLくさつ”でつくる「みんながスポーツ大好きなまち くさつ」を基本理念に、市民一人ひとりが健康的で、人との交流やつながりのある豊かなスポーツライフを楽しむことができるスポーツ文化の醸成されたまちを目指し、これまで様々なスポーツ推進に係る取組を行ってきました。

この間、国においては、平成29年3月に「第2期スポーツ基本計画」が策定され、スポーツの価値が具現化されるとともに、スポーツの枠を超えて他分野と積極的に連携・協働し、「一億総スポーツ社会」を目指すことが示されました。

これを受けて滋賀県では、平成30年3月に「第2期滋賀県スポーツ推進計画」が策定され、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会（以下、「国スポ・障スポ」という。）に向けた競技力の向上、年齢や障害の有無にかかわらず県民がスポーツに参加できる機会を増加し、運動を生活に取り入れるライフスタイルの定着、スポーツの力で元気な地域づくりにつなげることが示されています。

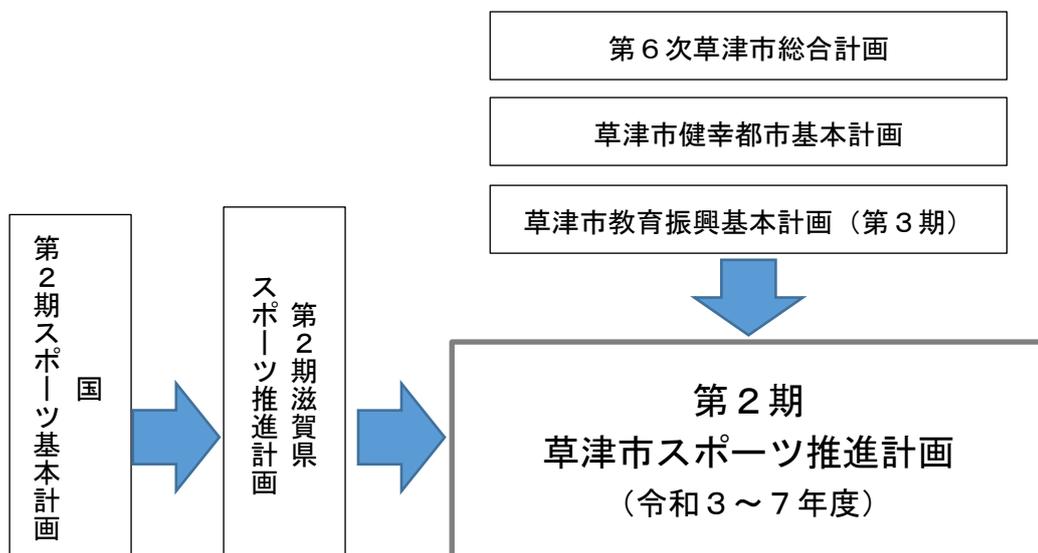
一方、本市では、平成28年8月に【健幸都市くさつ】を宣言し、生涯にわたって一人ひとりが自らの健康を大切にし、ともに支え合い、草津に暮らすことによって、絆や喜びが生まれ、幸せが感じられる笑顔あふれるまちを目指し、まちの基盤整備や健康産業の振興なども含め、産学公民が連携した健康施策を推進しています。

この度、第1期計画の期間が令和2年度で終了することから、これまでの成果と課題、近年の国・県の状況、令和6年に滋賀県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を踏まえ、さらなるスポーツの推進を図るため、「第2期草津市スポーツ推進計画」を策定します。

## 2. 計画の位置づけ

本計画は、平成23年8月に施行されたスポーツ基本法第10条に基づく計画で、国の「第2期スポーツ基本計画」や「第2期滋賀県スポーツ推進計画」を踏まえます。

また、「第6次草津市総合計画」や「草津市健幸都市基本計画」との整合を図るとともに、「草津市教育振興基本計画（第3期）」など関連計画との連携を図り、本市のスポーツ推進の基本的な方向性を示すものです。



### 3. 計画の期間

計画期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

### 4. 計画における「スポーツ」の定義

本計画における「スポーツ」は、サッカーや野球等の勝敗や記録を競い合う競技スポーツだけでなく、楽しむためのスポーツや、ウォーキングや散歩、ストレッチ等の健康維持のために身体を動かす軽い運動も含めます。

また、本計画では、自ら体を動かす「する」スポーツだけでなく、スポーツ観戦などの「みる」スポーツ、指導やボランティアなどの「ささえる」スポーツといった、スポーツの様々な関わり方も推進します。

社会情勢等の変化により、本計画を見直す場合があること、  
また、「知る」スポーツについても記載していきます。

## 第2章 スポーツを取り巻く本市の現状と課題

### 1. 計画策定の背景

本計画の策定にあたり、国の基本計画や県の第2期スポーツ推進計画および本市の上位・関連計画を整理し、スポーツに関する主なキーワードを抽出しました。

国や県の計画の要約をこちらに記載します。

#### <国・県>

##### 国・第2期スポーツ基本計画（平成29年度～令和3年度）

- 一億総スポーツ社会
- ライフステージに応じたスポーツ
- 人材育成と女性の活躍
- 健康増進
- スポーツの成長産業化
- 障害者スポーツの振興
- 「する」「みる」「ささえる」スポーツの参加促進
- スポーツに親しむ場
- 次世代アスリートの発掘・育成
- 経済・地域の活性化

##### 第2期滋賀県スポーツ推進計画（平成30年度～令和4年度）

- 幼少期からの運動・遊び
- スポーツ参画人口拡大
- ボランティアの育成
- スポーツの成長産業化
- 次世代アスリートの発掘・育成
- 健やかな体づくり
- トップアスリートとの交流
- 大学・企業等との連携
- 国スポ・障スポの開催
- レガシーの創出

##### 持続可能な開発目標（SDGs）

- あらゆる年代のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する（健康）
- すべての人に包括的でかつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する（教育）
- 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する（パートナーシップ）

市の計画の要約をこちらに記載します。

<上位計画・関連計画等>

**第6次草津市総合計画基本構想**（令和3年度～令和14年度）

- 心と体の育成・活性化
- 健康寿命の延伸
- 健康増進
- スポーツ機会や環境の充実
- 健康格差の縮小
- 人との交流やつながり

**草津市健幸都市基本計画**（平成29年度～令和4年度）

- 健幸都市くさつ
- 市民の健康拠点の充実
- スポーツイベント
- 大学・企業・地域産業との連携
- ライフステージに応じたスポーツ
- 地域の特性・ニーズ
- ヘルスケアツーリズム・ヘルスケアビジネス

**草津市教育振興基本計画 第3期**（令和2年度～令和6年度）

- 豊かな心と体の育成
- 競技スポーツの推進
- 国スポ・障スポ大会の推進
- 生涯スポーツ活動の支援
- スポーツ施設の整備・充実

**その他関連計画**

- 第2次草津市みどりの基本計画（改訂版）（平成30年度～令和2年度）
- 草津あんしんいきいきプラン第7期計画（平成30年度～令和2年度）
- 第5次草津市障害者福祉計画（平成30年度～令和2年度） など

## 2. 本市のスポーツを取り巻く現状と課題

### (1) 第1期計画の成果と課題

第1期計画の点検・評価結果や市民のスポーツに対する意識を把握するために実施した市民意識調査およびスポーツ関係団体等への意識調査結果をもとに、第1期計画の成果と課題を整理しました。

#### 基本方針1 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進

#### ①目標の達成状況

目標指標である新体カテストの成績は、男子は全国平均を上回り目標を達成しています。女子についても、全国の平均点を0.09下回っているものの、県の平均点を上回り滋賀県をリードしていると言えます。

#### 新体カテストの成績

基準値 (平成26年度)	目標値 (令和2年度)	実績 (令和元年度)	達成状況
小学5年生 男子 53.06 点 女子 53.59 点 ※参考：全国平均点 男子 53.91 点 女子 55.01 点	全国平均点を 上回る	小学5年生 男子 54.68 点 女子 55.50 点 ※参考：全国平均 男子 53.61 点 女子 55.59 点 滋賀県平均 男子 52.85 点 女子 54.05 点	ほぼ達成

#### ②主な取り組みの成果

立命館大学スポーツ健康科学部と協働で取り組む「小・中学校体力向上プロジェクト」の短時間運動プログラムやダンス教室、ジュニアスポーツフェスティバル等の体育授業の充実や、トップアスリートを講師に迎える「くさつ MIO 夢先生事業」や、「松田宣浩選手が来るジュニア野球教室」等により子どもの体力向上を図ることができました。

コラム (写真+文章)

(例) ジュニアスポーツフェスティバル  
くさつ MIO 夢先生事業、など

### ③課題

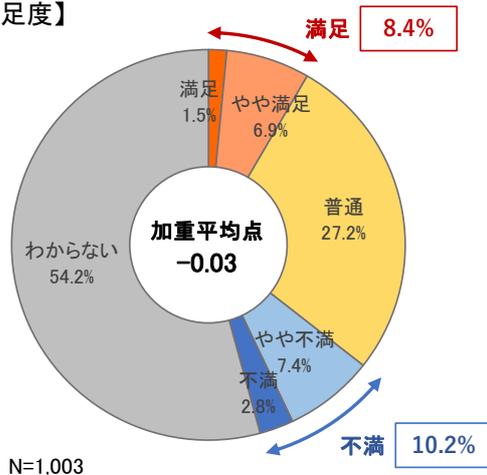
小・中学校の運動クラブ・部活動においては、運動部に所属する生徒の減少により種目の統廃合が行われたり、指導者の不足が課題となっています。また、スポーツ少年団においては、団員の確保、活動場所の確保等が課題となっています。引き続き、幼保、学童、スポーツ少年団、大学、プロスポーツ、地域等の連携を強化し、指導者の確保や質の向上に努め、市全体で、子どもの体力向上に取り組む必要があります。

また、運動の好き嫌いとは体力には相関関係があるといわれていることから、体力の向上に向けて、運動好きの子どもを増やすことも重要です。

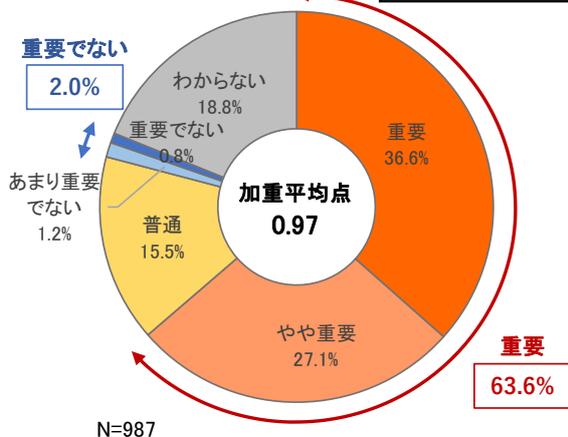
満足度と重要度の相関図を表示することを検討しています。

#### ■ 基本方針1の満足度と重要度（市民アンケート調査結果）

【満足度】



【重要度】



※加重平均点は、「わからない」を除いたそれぞれの項目に以下の係数を乗じて算出

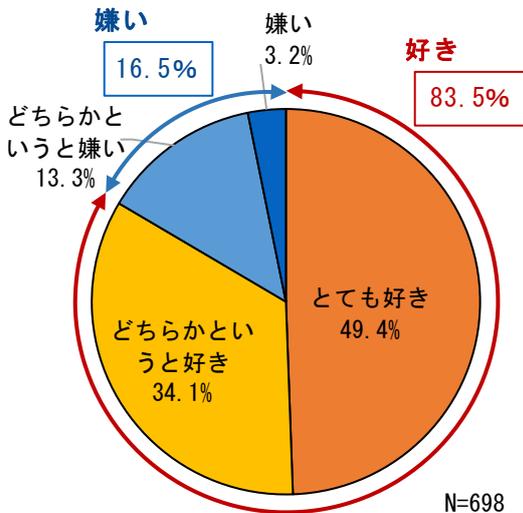
満足度：「満足」2点、「やや満足」1点、「普通」0点、「やや不満」-1点、「不満」-2点

重要度：「重要」2点、「やや重要」1点、「普通」0点、「あまり重要でない」-1点、「重要でない」-2点

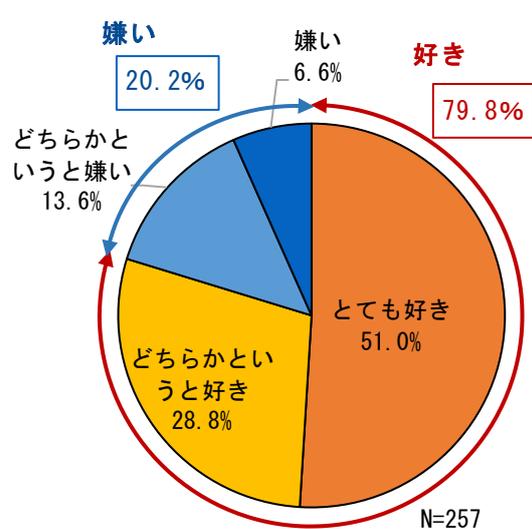
#### ■ スポーツや運動好きの子ども割合（小中アンケート）

● 小・中学生の8割以上がスポーツが好きと回答

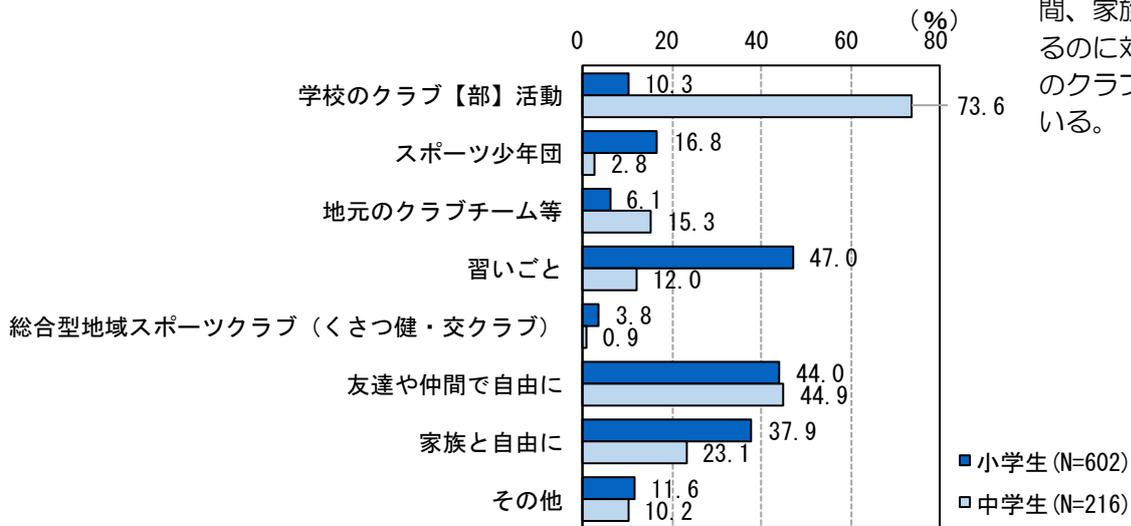
【小学生】



【中学生】



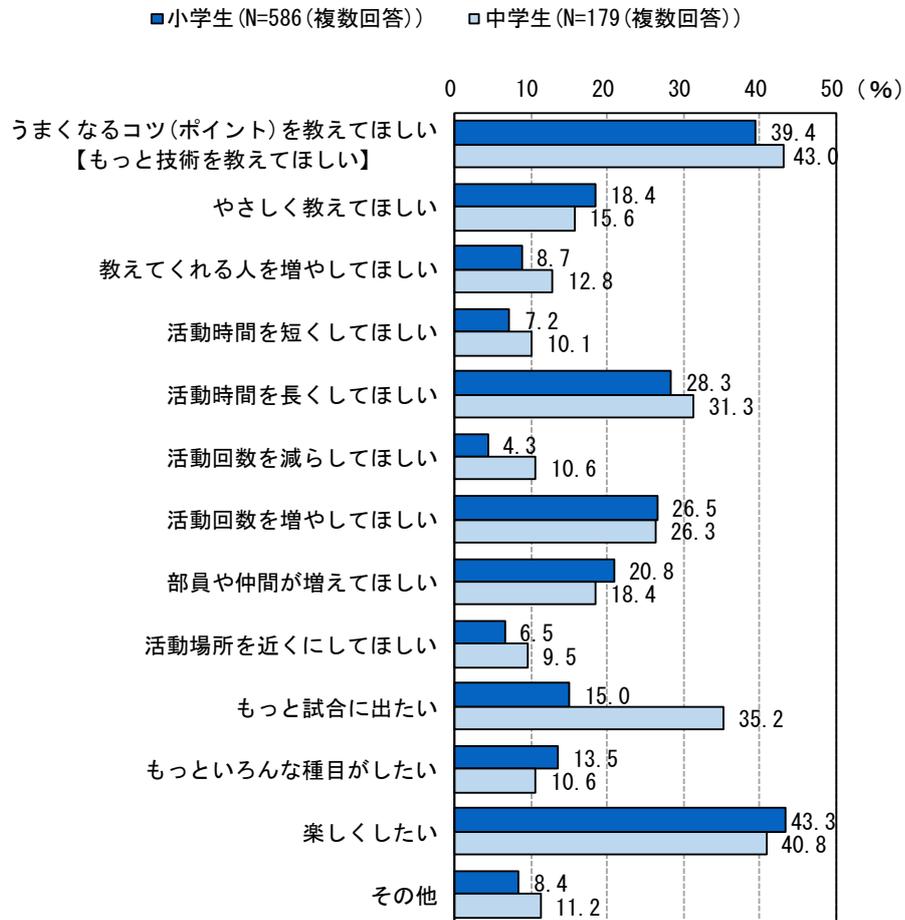
■ どのようにスポーツや運動を行っているか（小中アンケート）



● 小学生は習い事や友達や仲間、家族と自由に行っているのに対し、中学生は学校のクラブでスポーツをしている。

■ スポーツや運動を行っていて、改善してほしいと思うこと（小中アンケート）

● 小学生、中学生とも「楽しくしたい」、「うまくなるコツ（ポイント）を教えてほしい」が上位を占めている。中学生では「もっと試合に出たい」、「活動時間を長くしてほしい」といった回答も多く、スポーツに対する意欲がうかがえる。

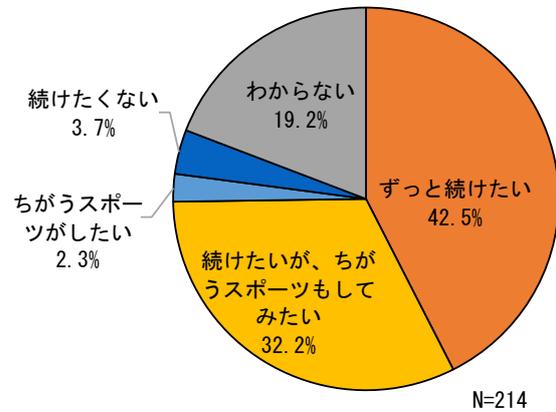
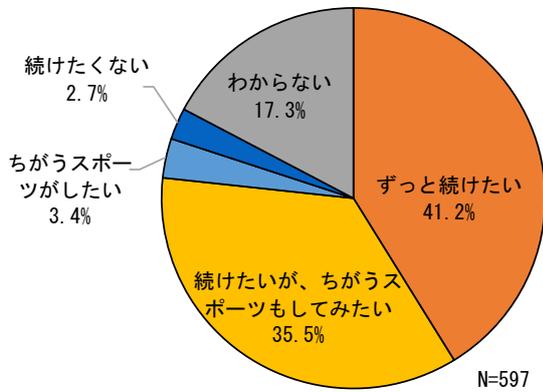


■ 現在のスポーツを今後も続けたいか（小中アンケート）

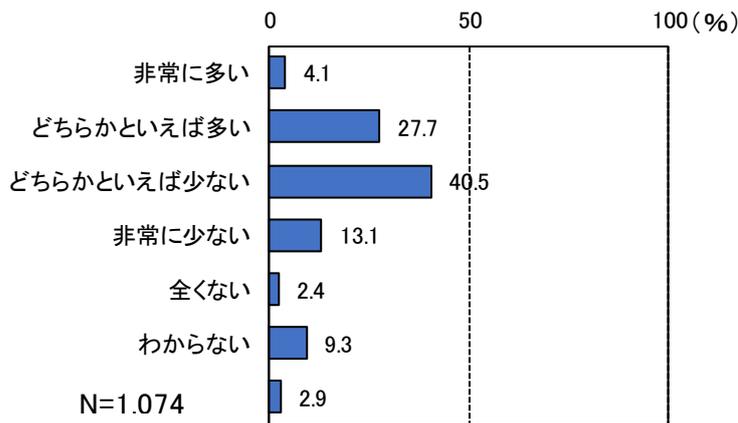
- 小学生、中学生とも 7 割以上が続けたいと回答。

【小学生】

【中学生】

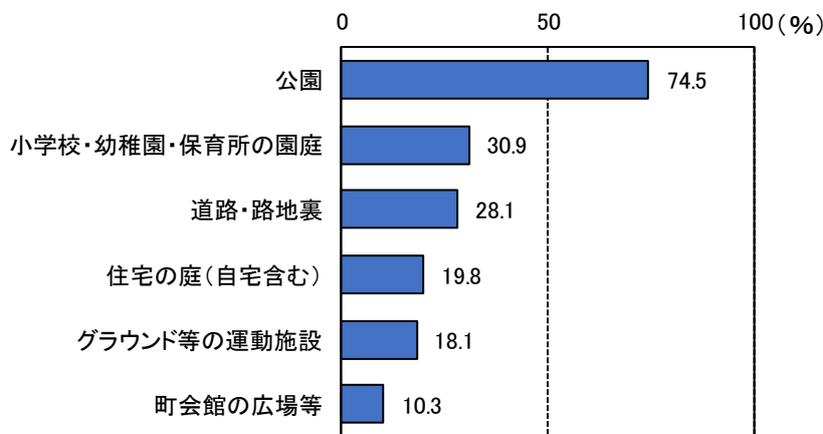


■ 身近にある子どもの外遊びの場（市民アンケート）



- 5 割以上が少ないと回答。

■ 身近にあれば良いと思う子どもの外遊びの場（市民アンケート）



- 身近にあれば良い子供の外遊びの場として、7 割以上が「公園」をあげている。

※10%以上のみ表示

## 基本方針 2 生涯スポーツ活動の推進

### ①目標の達成状況

目標指標である成人（20 歳以上）の週 1 回 30 分以上のスポーツ実施率は、基準値から 1. 2 ポイント増加したものの、目標値である 65%には大きく届かない状況となっています。

#### **目標** 成人（20 歳以上）の週 1 回 30 分以上のスポーツ実施率

基準値 (平成 26 年度)	目標値 (令和 2 年度)	実績 (令和元年度)	達成状況
54.8%	65%以上	56.0%	未達成

### ②主な取り組みの成果

草津市民スポーツレクリエーション祭、チャレンジスポーツデー、ウォーキングイベントなどの各種イベントを開催し、運動機会の創出に取り組むとともに、健幸都市として、草津川跡地公園での健幸イベントのほか、健康増進アプリや健幸宣言賛同企業の増加に取り組ましました。

スポーツ推進委員協議会が自主事業として実施している「体づくり歩こう会」のほか、「いきいき百歳体操」等により、高齢者のスポーツ実施率は高くなっています。この結果、40歳代から70歳代のスポーツ実施率は、高くなっています。

コラム（写真＋文章）

（例）草津市民スポーツレクリエーション祭  
草津市体づくり歩こう会、など

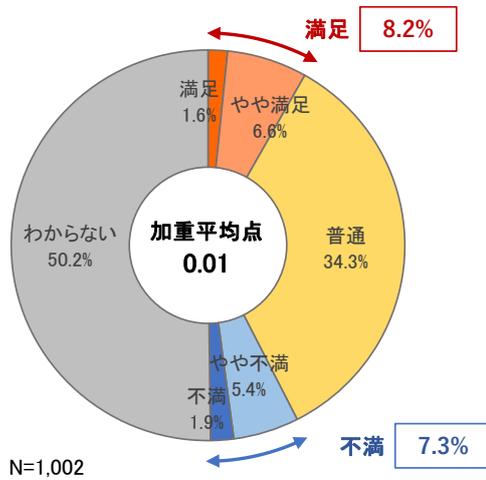
### ③課題

各種イベント等を実施しているものもあり、まだまだ認知度が低いものもあり、引き続き広報周知を徹底していく必要があります。

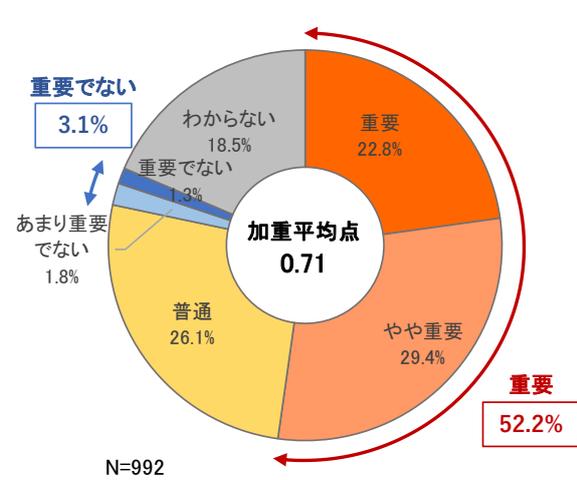
子育て世代のスポーツ実施率が低いことから、今後は、これまでの事業をさらに推進していくとともに、世代別等の効果的なアプローチや意識づけなど、スポーツ実施率向上に向けた具体的な取組について検討が必要です。

■施策2の満足度と重要度（市民アンケート調査結果）

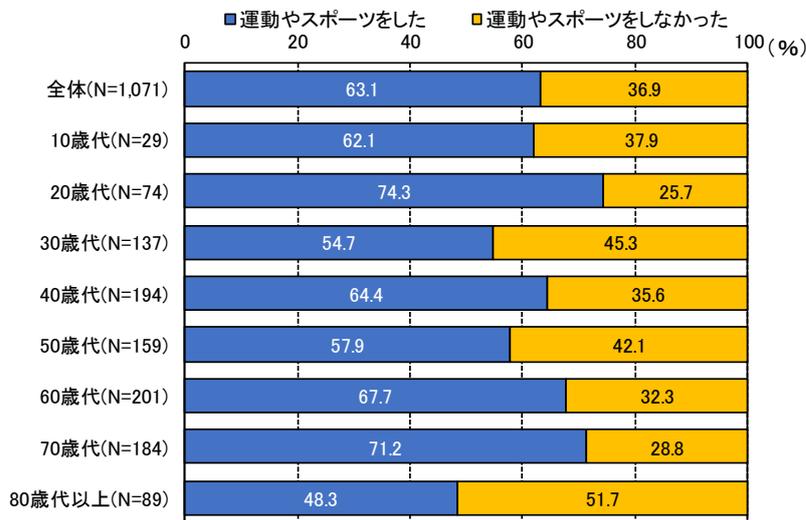
【満足度】



【重要度】

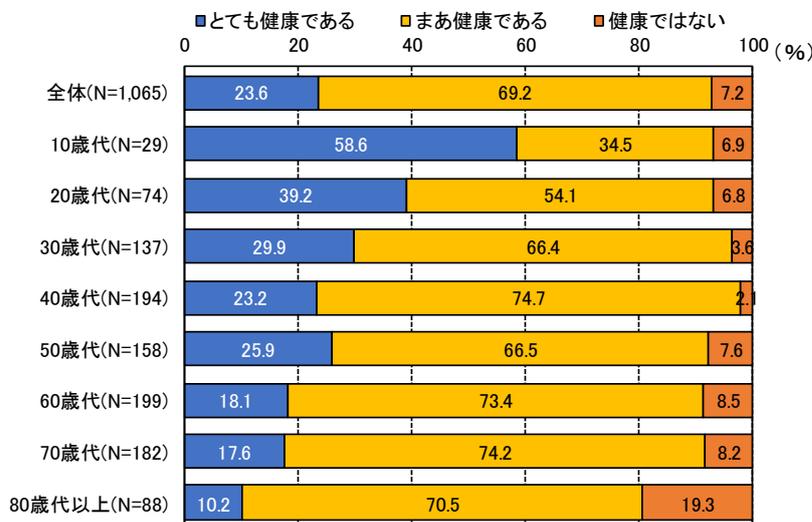


■過去1年間の市民の運動・スポーツの実施状況（市民アンケート調査結果）



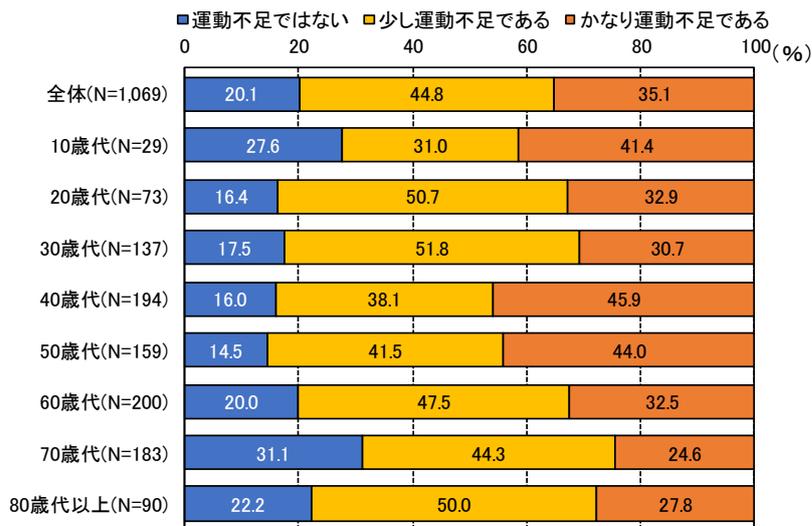
- 運動やスポーツを行った人は63.1%で、30歳代や50歳代で全体を下回っている。

■市民の健康状態（市民アンケート調査結果）



- 健康と感じている人が大多数を超えており、そのうち、とても健康であるとの回答した人も2割を超える。

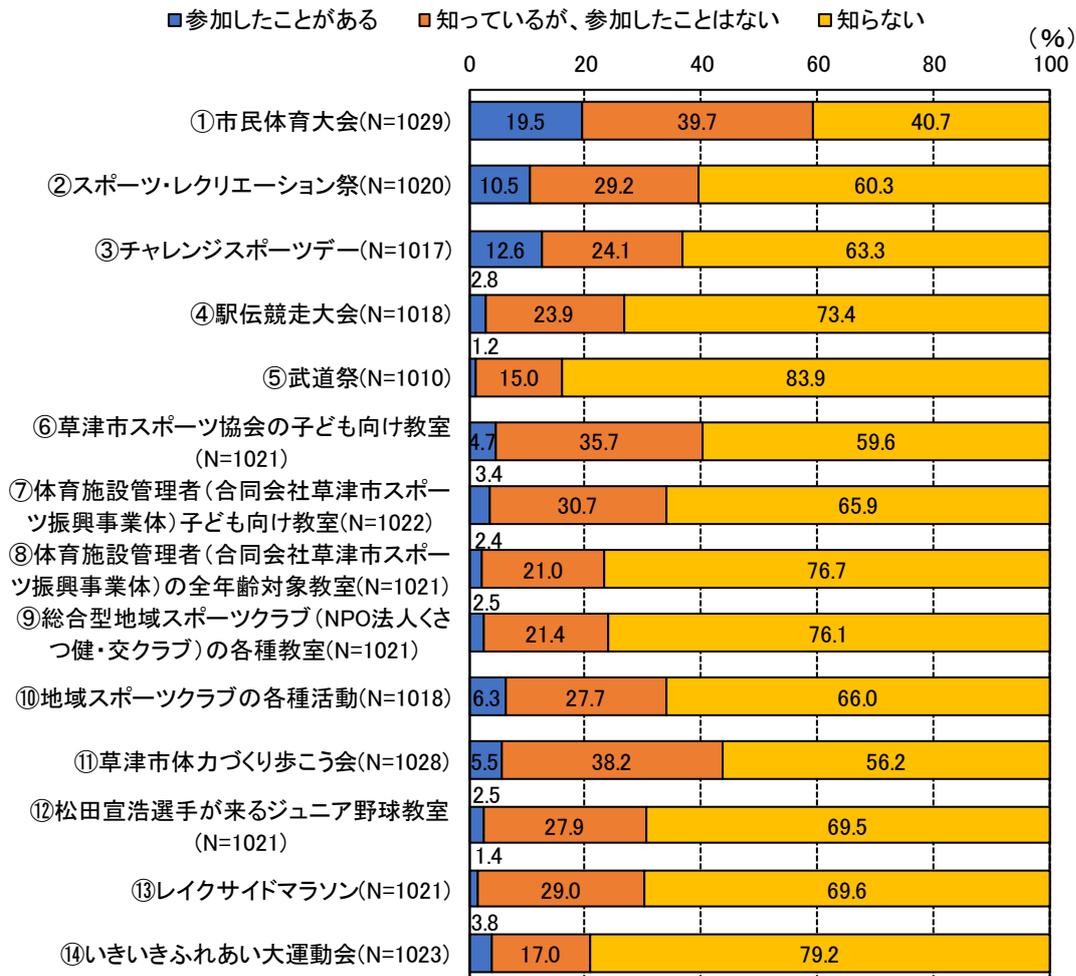
## ■市民の運動不足の状況（市民アンケート調査結果）



- 運動不足だと感じている人が8割で、特に20～50歳代で運動不足を感じている人の割合が高い。

## ■市内の運動・スポーツイベントの認知・参加状況（市民アンケート調査）

- 「市民体育大会」は2割が参加、認知度も6割となっているが、それ以外のスポーツイベントは認知度も低い。



### 基本方針 3 地域コミュニティによるスポーツの推進

#### ①目標の達成状況

目標指標である地域スポーツクラブについては、地域スポーツクラブの目的や意義等について周知・啓発を図ってきた結果、新たに1つのスポーツクラブが設立され、現在5つのスポーツクラブが6学区で活動しています。

#### 目標 地域スポーツクラブ設立数

基準値 (平成 26 年度)	目標値 (令和 2 年度)	実績 (令和元年度)	達成状況
4 クラブ	8 クラブ	5 クラブ	未達成

#### ②主な取り組みの成果

スポーツ推進委員協議会や学区体育振興会、くさつ健・交クラブなど各種団体の活発な活動により、地域でスポーツができる環境が充実しました。また、学区まちづくり協議会の健康宣言により、健康増進の取組が拡大しました。

コラム (写真+文章)

(例) くさつ健・交クラブの活動の様子  
地域スポーツクラブの活動の様子 等

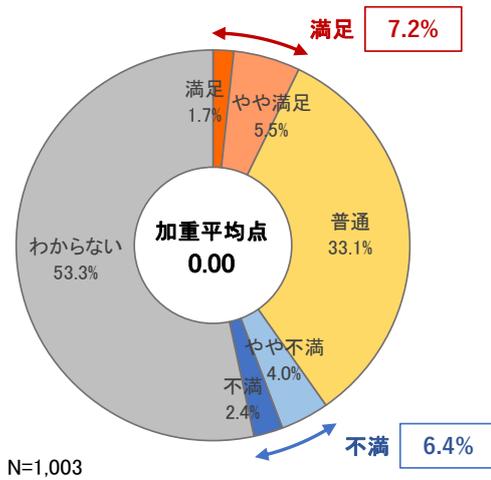
#### ③課題

イベントによっては、参加者の固定化や参加者の確保が難しい等の課題がみられることから、開催日やプログラム等を工夫し、多くの市民が参加しやすい環境づくりを検討が必要です。

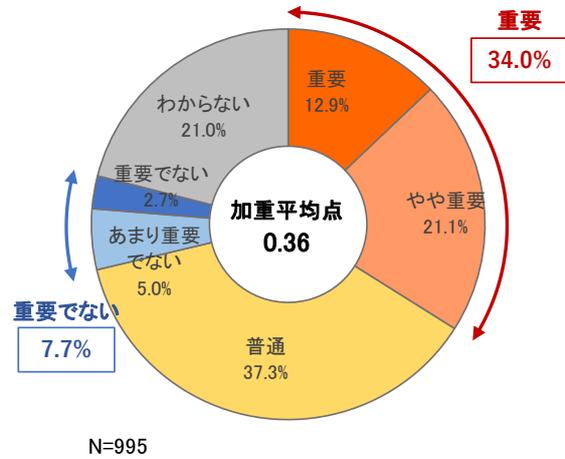
また、地域での担い手の高齢化が進んでいることから、関係団体との連携を強化し、良い取組を次代につなぐ必要があります。また、優良事例の把握と全体化が必要です。

■施策3の満足度と重要度（市民アンケート調査結果）

【満足度】

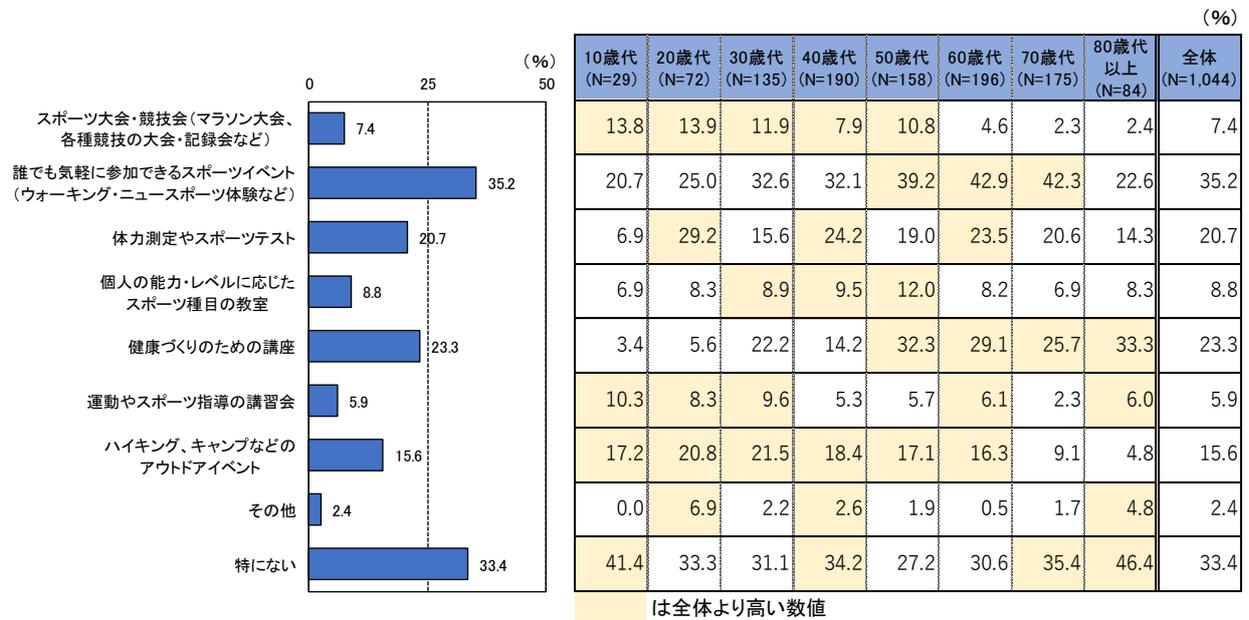


【重要度】



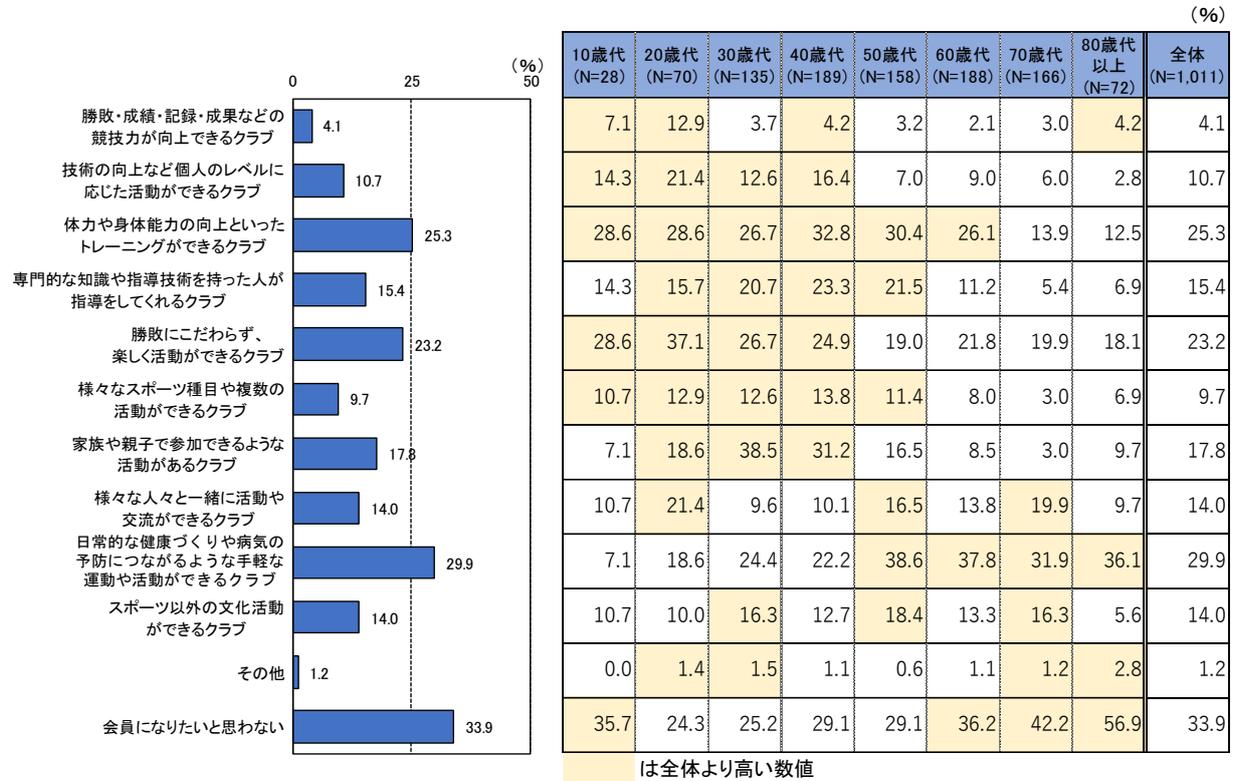
■参加したい健康づくりやスポーツに関するイベント（市民アンケート調査）

- 「誰でも気軽に参加できるスポーツイベント」が35.2%、「健康づくりのための講座」が23.3%で、気軽に参加できるイベントのニーズが高い。



## ■加入したいスポーツクラブの形態（市民アンケート調査）

- 全体では「日常的な健康づくりや病気の予防につながるような手軽な運動や活動ができるクラブ」が3割を占めるが、30～40歳代の子育て世代では、「家族や親子で参加できるような活動があるクラブ」も3割を超えている。



## 基本方針 4 競技スポーツの推進

### ①目標の達成状況

目標指標である滋賀県民体育大会における草津市の総合得点は、参加種目が減少したことから順位が下降しましたが、上位に入賞する競技は増加しています。

#### **目標** 滋賀県民体育大会における草津市の総合得点

基準値 (平成 26 年度)	目標値 (令和 2 年度)	実績 (令和元年度)	達成状況
75.00 点	95.00 点	57.83 点 (県 5 位)	未達成

### ②主な取り組みの成果

市内の競技団体の活発な活動の促進のため、草津市スポーツ協会の活動を支援し、人員体制強化に取り組みました。また、スポーツ協会、各競技団体、指定管理者と連携し、プロスポーツ選手と連携したスポーツ教室や子ども向け体験教室を実施するなど、関係者と連携した取組を進めました。

コラム (写真+文章)

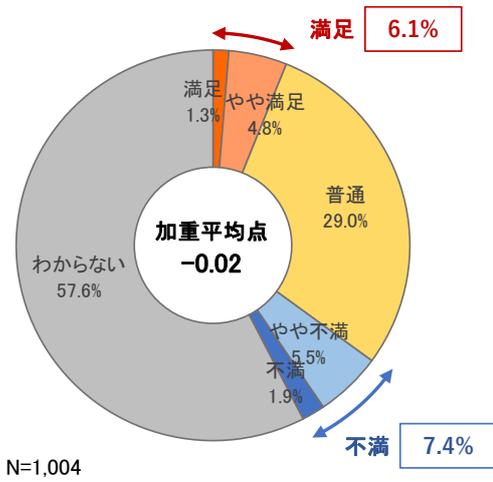
(例) 武道祭や駅伝 等

### ③課題

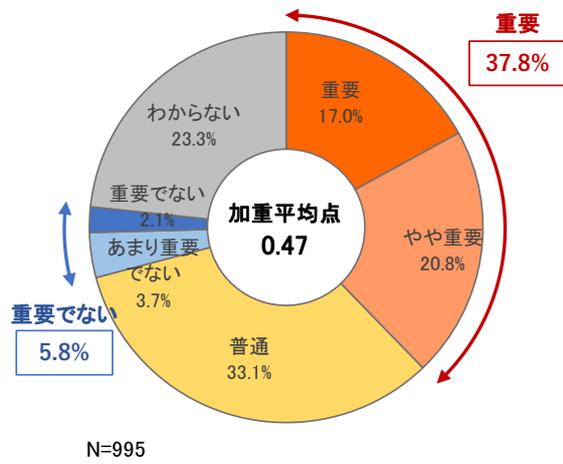
競技力の向上に向けて、指導者の確保・育成を進めるほか、国スポ・障スポの開催に向けて、次代のアスリートの発掘・育成を一層推し進めていくために、草津市スポーツ協会を中心として市内の競技団体や滋賀県スポーツ協会などの関係団体と一層の情報共有や連携に取り組むことが重要です。

■施策4の満足度と重要度（市民アンケート調査結果）

【満足度】

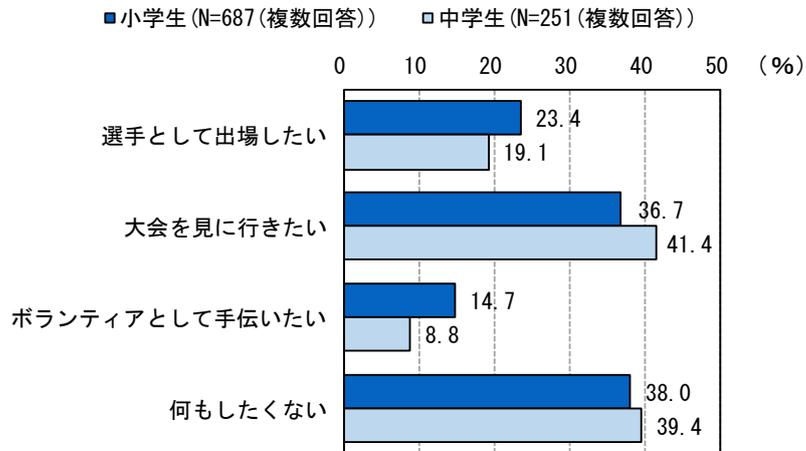


【重要度】



■滋賀県の国スポ（国民スポーツ大会）でしたいこと（小中アンケート）

- 「大会を見に行きたい」は小学生、中学生とも約4割、「選手として出場したい」は小学生、中学生とも約2割を占める。



## 基本方針 5 スポーツ環境の充実

### ①目標の達成状況

社会体育施設のウェブページ「草津市スポーツ情報ネット」での情報発信の充実を図り、利便性向上に努めた結果、社会体育施設のホームページアクセス数は大きく増加し、目標を大幅に上回りました。

#### 目標 社会体育施設ホームページアクセス数

基準値 (平成 26 年度)	目標値 (令和 2 年度)	実績 (令和元年度)	達成状況
36,406 アクセス	100,000 アクセス	189,825 アクセス	達成

### ②主な取り組みの成果

老朽化した市民体育館の建て替えにあわせて、整備が進められている野村公園内に YMIT アリーナが令和元年6月に供用を開始しました。約 3,500 人収容できBリーグなども開催できる規模のメインアリーナのほか、サブアリーナ、多目的室や会議室などが整備され、子どもから大人まで誰もが気軽に利用できる地域のスポーツ実施率を高める活動拠点としてはもちろんのこと、各種イベントの実施が可能となり、地域コミュニティを醸成する交流拠点、中心市街地活性化に貢献する集客拠点として、まちづくりへの寄与が期待されています。

また、国スポ・障スポの開催に向け、競技会場となる（仮称）草津市立プールの整備計画を策定したほか、社会体育施設整備を計画しました。

情報提供の充実については、「草津市スポーツ情報ネット」において、市内の新着情報の共有、SNS との連動、音声による施設の紹介、スポーツ情報や施設予約状況が閲覧できるなど、情報発信の充実を図り、利便性向上に努めました。

コラム（写真＋文章）  
（例）YMITアリーナ 等

### ③課題

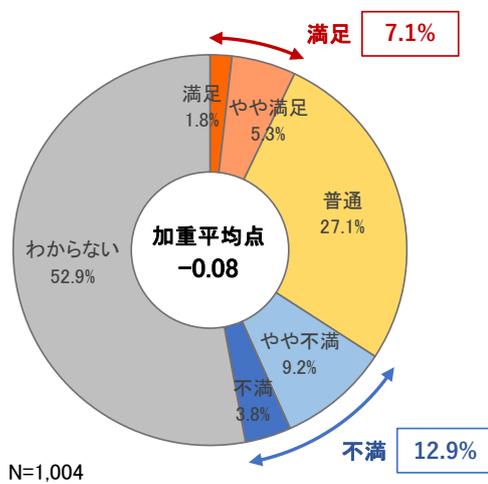
国スポ・障スポの開催に向け、着実にハード・ソフトの両面から整備を進めていく必要があります。

スポーツ少年団や各種団体間ではスポーツ施設の取り合いで練習場所の確保が課題となっており、市民アンケート結果でも施設の不足や交通アクセスの悪さに対する意見が多くなっています。他に、社会的ニーズの高いグラウンドゴルフ場の整備検討に加えて、学校体育施設や企業・大学等の開放促進等により、身近で利用できる施設の充実を検討なども必要です。

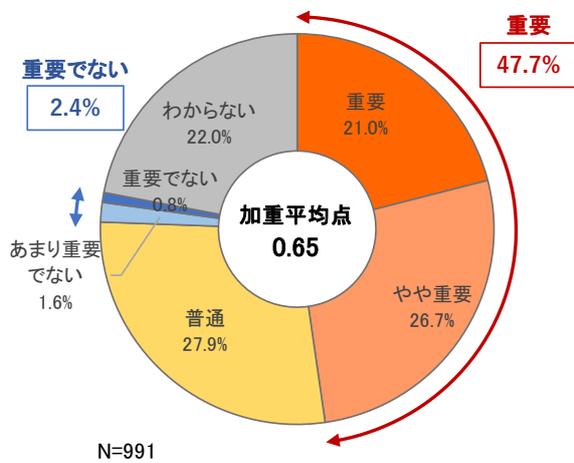
また、市民アンケート結果でも「利用手続きが面倒」との声が多いことから、ネット予約の検討や、施設・備品の更新など、快適な施設利用に向けた改善を進める必要があります。

### ■施策5の満足度と重要度（市民アンケート調査結果）

【満足度】

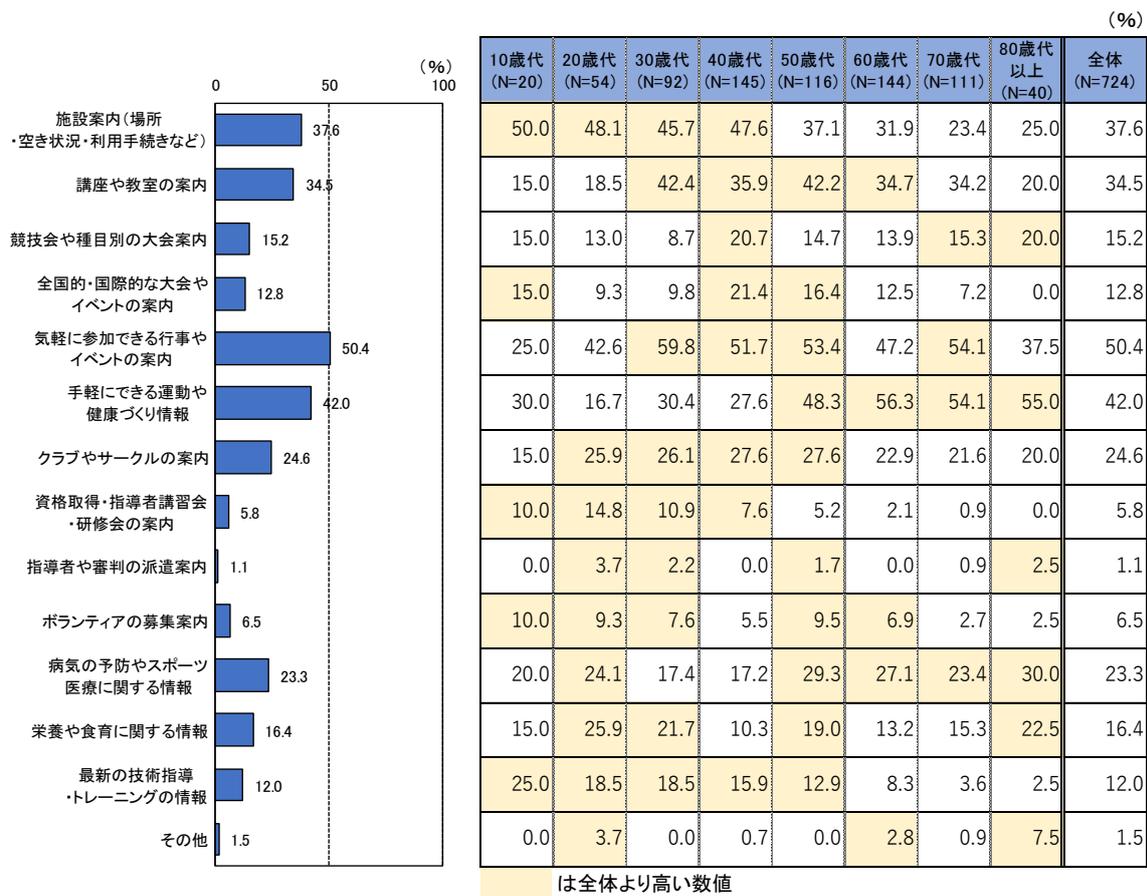


【重要度】



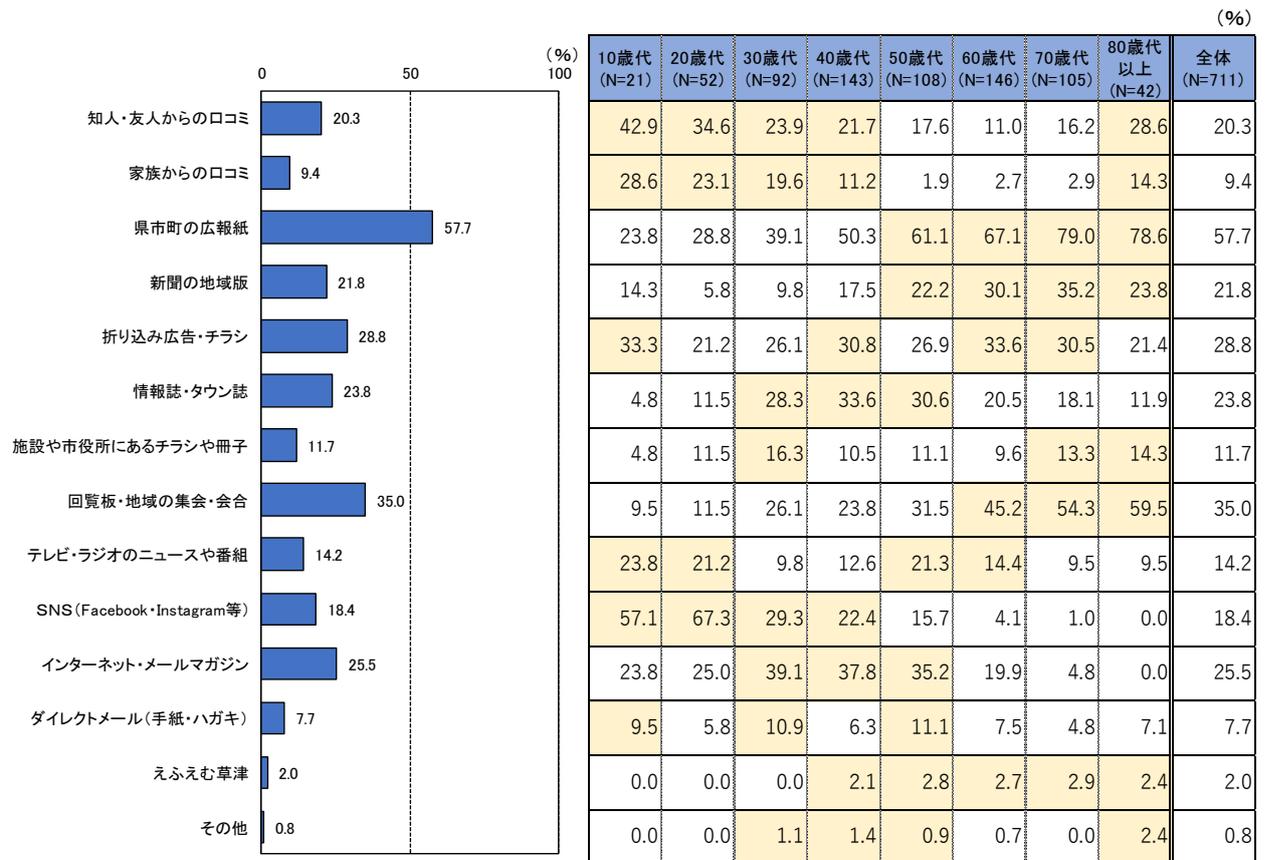
## ■入手したいスポーツ情報（市民アンケート調査）

- 「気軽に参加できる行事やイベントの案内」や「手軽にできる運動や健康づくり情報」が求められているが、若い世代では、「施設案内」も5割前後と多い。



## ■スポーツ情報を入手しやすい方法（市民アンケート調査）

- 5割以上が「県市町の広報紙」と回答。10～20歳代では「SNS」が6割前後と高い。



## (2) 第2期計画策定に向けた方向性

本市では、それぞれが自分にあった方法でスポーツを楽しめる社会の実現を目指し、様々な取組を推進してきました。これまで着実に成果をあげてきた取組は、引き続き推進していくとともに、中長期的な視点で更なる積み上げを目指します。

令和6年に、滋賀県で開催が予定されている第79回国民スポーツ大会および第24回全国障害者スポーツ大会に向けた準備が進められており、草津市でもバレーボール、バスケットボール、軟式野球、ソフトボール等の会場となることが内定しています。国スポ・障スポの開催に向けて、着実なハード整備、関係機関との連携による競技力の向上とともに、ボランティアとして大会を支える、トップレベルの競技を観戦し、応援するといった、開催に向けた市全体で生み出された機運や取組を、大会終了後も引き継ぎ、「する」だけでなく「みる」、「ささえる」、「知る」など様々な方法で、誰もがスポーツを楽しめる環境づくりを進めていくことが重要です。

ハード整備について、プール整備計画についても記載します。

「健幸都市くさつ」の実現に向けて、分野横断的にハード・ソフトの両面から様々な施策が推進されており、運動やスポーツによって、子どもから大人まで個人の健康づくりを進めるとともに、交流機会の増加、ヘルスツーリズム等によるまちの活性化が進められています。日常的にスポーツを実施している人の割合は徐々に増加しているものの、仕事や家事などで忙しかったり機会がなかったりしてスポーツに関わることの少なかった世代に対しても、身近で気軽にスポーツに親しみ楽しめる環境づくりを進めていく必要があります。また、スポーツイベントの実施やスポーツツーリズムの推進など、健幸都市にふさわしく、まちづくりの中で、スポーツの持つ力を活かして交流や連携を深めるなど、多面的な展開を図る必要があります。

### <新たに盛り込むべき視点>

- ライフステージに応じたスポーツの促進
- 「する」「みる」「ささえる」「知る」でのスポーツ参加
- 国スポ・障スポを契機としたスポーツレガシーの創出
- スポーツの力を活かした交流・連携によるまちの活性化

## 第3章 基本理念と基本方針

### 1. 基本理念

第1期計画では、本市が目指すスポーツ推進の将来像として、“ALLくさつ”でつくる『みんながスポーツ大好きなまちくさつ』を基本理念に定め、その実現に向けて、行政のみならず、地域やスポーツ関係団体等が連携・協力し様々な取組を行ってきた結果、一定の成果をあげてきました。

第2期計画においては、国スポ・障スポの開催に向けた環境整備の推進、市民のライフスタイルの変化など新たな課題に対応した取組を行う一方、第1期計画において十分な成果をあげられなかった取組の中で必要なものについては継続していくことから、次の基本理念のもとに本市のスポーツ推進に取り組んでいきます。

#### 【第2期計画基本理念】

※別紙のとおり

※基本理念に対する考え方は、上記が決まったのちに記述します。

## 2. 基本方針

基本理念の実現に向けて取り組む具体的な方向性を5つの「基本方針」として定め、それぞれの方針に沿った施策と目標を設定し、各主体に期待する役割や行政が果たすべき役割を明確にしたうえで、それぞれの連携・協力を強化し、取組を進めていきます。

※本計画期間中に国スポ・障スポの開催があることから、それに関連する事項について記載します

### 1 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進

- スポーツや運動好きの子どもが増えるよう、乳幼児から遊びを通じて体を動かす機会の充実を図るとともに、関係機関や大学や企業等との連携により、子どもたちが多様なスポーツにふれる機会を創出します。
- また、学校体育等の充実等により、子どもたちの体力の向上を図ります。

### 2 生涯スポーツ活動の推進

- 年齢や障害の有無、ライフスタイルに関わらず、誰もがそれぞれの体力や技術、興味、目的に応じて、日常生活の中で気軽に運動やスポーツを行い、生きがいや健康づくりを進められるよう、関係機関と連携してスポーツ活動機会の充実を図ります。
- 「する」「みる」「ささえる」「知る」の様々なかたちで市民のスポーツ参加を促進します。
- 仕事や家事などで忙しかったり機会がなかったりなどでスポーツに関わることの少なかった世代等を対象に、参加機会を広げ、運動習慣の定着化を図ります。

### 3 競技スポーツの推進

- 関係団体と連携し、トップ選手と連携したスポーツ教室や子ども向け体験教室などにより、参加機会を広げ、競技スポーツの普及を図ります。
- 国スポ・障スポの開催に向けて、指導力の向上を図り、関係機関と連携し将来を担うアスリート等の育成に力を入れるなど、競技力の向上を図ります。

### 4 スポーツ環境の充実

- 社会体育施設等の整備・充実を計画的に進めるとともに、学校体育施設の開放や大学・企業等との連携により、スポーツする場の充実を図るとともに、誰もが利用しやすい情報提供を進めます。
- 令和6年の国スポ・障スポの開催に向け、ボランティア等の受け入れ体制などソフト・ハードの両面から整備を進めます。

### 5 スポーツによる地域の活性化

- スポーツを楽しむことで、人のつながりや交流が生まれ、地域の活力の創出につながります。スポーツの持つ力で交流や連携を深め、健幸都市にふさわしく、元気なまちづくりを進めます。
- 国スポ・障スポの開催を通じて市全体で生み出された機運や取組を大会終了後も引き継ぎ、スポーツ文化の醸成と継承を目指します。

### 3. 各主体の役割

市民	それぞれが自分の目的や興味にあわせてスポーツを楽しみ、体力や健康の維持・向上につなげ、生涯にわたってスポーツに関わっていくことが期待されます。また、 <b>スポーツを観戦する（応援する）、スポーツイベント等におけるボランティアスタッフとしてスポーツを支えるなど</b> 、スポーツを通じた交流により、地域の活性化が期待されます。
家庭	家庭でスポーツに親しむ機会を確保し、共通のスポーツを楽しむことによる家族間の絆の深まりが期待されます。特に、子どもがいる家庭では、子どものスポーツに対するやる気を尊重し、豊かな食生活、睡眠時間の確保等の支援をすることで、心身ともに健全な子どもをはぐくむ家庭づくりにつながることを期待されます。
スポーツ協会	競技団体やスポーツ少年団を統括し、その活動を支援することや、選手や指導者の育成等、活発な活動が促進されることで、競技に取り組みやすい環境を整えることができ、競技力の向上が期待されます。また、競技のネットワークを生かし、地域や学校等と連携・協力することで、市民へのスポーツの普及、市民の体力・健康づくりの推進が期待されます。
スポーツ推進委員	市民に対するスポーツの実技の指導やスポーツに関する指導、助言を行うとともに、スポーツ推進のコーディネーター役として、各スポーツ関係団体等と連携・協力することで、地域におけるスポーツ推進が期待されます。
体育振興会	地域の状況に応じて、各種スポーツやレクリエーション、野外活動の普及に取り組み、また地域スポーツクラブの設置等により、住民相互の交流が図られることで、地域の活性化が期待されます。 さらに、市内14学区が連携することにより、生涯スポーツの普及と発展、市民の健康づくりの推進が期待されます。
総合型地域スポーツクラブ	子どもから高齢者まで、誰もが気軽にスポーツを楽しむことができるスポーツ事業に取り組みすることで、市民の多様なスポーツニーズにこたえ、スポーツをする機会の充実が図られるとともに、スポーツを通じて世代間の交流が推進されることが期待されます。また、ボランティアスタッフ等の育成により、各スポーツ関係団体等の事業運営等への支援が期待されます。
その他関係団体	健康推進員をはじめとして、福祉や子育て、観光等、市内の各分野の関係団体が相互に連携・協力し、事業を展開することで、市民の多様なニーズへの対応や各分野の枠を超えた効果を生み出すことが期待されます。
認定こども園・幼稚園・保育所・学校	運動や遊び、体育授業、部活動等により、児童・生徒の体力向上が期待されます。また、園庭や学校体育施設を市民に開放することで、スポーツができる身近な場所の充実が期待されます。
大学・企業	それぞれが持つ専門性を生かし、各スポーツ関係団体や行政等と連携・協力することで、スポーツ健康づくりの新たな推進形態の構築が期待されます。
行政	市民の多様なスポーツニーズに対応するため、スポーツ分野のみならず、子育てや福祉等の分野と連携・協力し、各スポーツ関係団体等への必要な支援を行いながら、より連携を強め、一体的な推進体制のもとにスポーツ健康づくりを推進していきます。

#### 4. 施策体系

基本方針	施策
1. 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 乳幼児・児童の運動（遊び）の推進</li> <li>(2) 学校体育の充実</li> <li>(3) 運動クラブ・部活動の充実</li> <li>(4) スポーツ少年団活動の活性化</li> <li>(5) スポーツ障害の予防</li> </ul>
2. 生涯スポーツ活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) ライフステージに合わせた健康づくりの推進</li> <li>(2) 「する」「みる」「ささえる」「知る」スポーツの参加促進</li> <li>(3) 食育による健康づくりの推進</li> <li>(4) 体育振興会活動の活性化</li> <li>(5) 総合型地域スポーツクラブ活動の活性化</li> <li>(6) 障害者スポーツの推進</li> </ul>
3. 競技スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) スポーツ協会活動の活性化</li> <li>(2) スポーツ少年団活動の活性化 ※再掲</li> <li>(3) 各種大会出場者への支援</li> <li>(4) 将来を担うアスリートの育成</li> <li>(5) 国スポ・障スポ、各種競技大会の推進</li> </ul>
4. スポーツ環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 指導者の育成・ボランティア機会の充実</li> <li>(2) スポーツ推進委員活動の推進</li> <li>(3) スポーツ情報の発信</li> <li>(4) 社会体育施設等の整備・充実</li> <li>(5) 学校体育施設開放の充実</li> <li>(6) 企業・大学管理施設の有効活用</li> </ul>
5. スポーツによる地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 各種関係団体と連携した取組の推進</li> <li>(2) スポーツリズムの促進</li> <li>(3) スポーツ観戦機会の充実</li> <li>(4) スポーツを通じた交流促進</li> <li>(5) 国スポ・障スポを契機とするスポーツレガシーの創出</li> </ul>

## 第4章 施策展開

### 基本方針1 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進

#### 【目標：新体力テストの成績】

現状値<令和元年度> 小学5年生 男子 54.68点 女子 55.50点

(参考：全国平均点 男子 53.61点 女子 55.59点)

目標値<令和7年度> 男女とも全国平均点を上回る

達成状況の把握方法 全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果(スポーツ庁)

#### 【目標：運動好きの子どもの割合】

現状値<令和元年度>

目標値<令和7年度>

達成状況の把握方法

### 施策1 乳幼児・児童の運動(遊び)の推進

#### ① 遊びを通じた運動・スポーツの充実

- 認定こども園・幼稚園・保育所の園庭開放、子育て支援センターでの遊び場の提供や親子で身体を動かすことができるイベントを行うことにより、子どもの遊び場を確保し、子どもの外遊びや子ども同士、親同士の交流につなげます。
- 認定こども園・幼稚園・保育所において、各園の特色を生かした運動(遊び)の充実を図ります。
- 小学校の休み時間を活用した児童の外遊びを奨励し、外遊びを児童の習慣につなげます。

#### ② 親子で楽しむ運動・機会の充実

- 「親と子の体操教室」等、親子で参加できる教室・講座等を開催し、家族ぐるみで運動・スポーツに取り組むことができる機会の充実を図ることで、親と子のつながりを深めるとともに、親の子育てへの積極的な参画意識の醸成につなげます。

#### ③ 地域ぐるみで取り組む子どもの運動・スポーツ機会の充実

- 「地域協働合校\*」等、学校や地域、家族が協働し、子どもが運動・スポーツに取り組むことができる機会の充実を図り、地域ぐるみで子どもの健全育成に努めます。

#### ④ トップアスリートと連携した子供の社会機会の充実

- 子どもとトップアスリートが交流できるスポーツ機会の充実を図り、子どもがスポーツの楽しさや素晴らしさを身近に感じ、スポーツをしたり、好きになるきっかけづくりにつなげます。

### 施策2 学校体育の充実

#### ① 授業内容の充実と体育指導の向上

- 立命館大学と協働して、「小・中学校体力向上プロジェクト事業\*」を実施し、児童・生徒が、楽しみながら意欲的に体育事業に取り組めるよう、授業内容の研究と充実を図ります。
- 授業内容の充実を図るため、体育指導者に対する研修や講習を実施し、体育指導者の資質向上や育成に努めます。
- タブレット端末等を授業に活用し、効率的・効果的な体育指導を図ります。

#### ② 大学と連携した学校教育の充実

- 市内の小学6年生が一堂に会する「ジュニアスポーツフェスティバルKUSATSU」を立命館大学と連携して開催し、日ごろの体育授業の取組の成果を発揮する場や、大学の様々な運動部と交流できる機会をつくり、様々なスポーツの体験を通じて、スポーツをしたり好きになるきっかけづくりにつなげます。

### 施策3 運動クラブ・部活動の充実

#### ① 小中学校体育連盟\*の連携強化

- 運動クラブ・部活動の活性化を図るため、小・中学校体育連盟の連携を強化し、学校間の運動クラブ・部活動にかかわる課題等の共有を図り、その解決策等について、協議・研究する機会を充実します。

#### ② スポーツ関係団体や大学等と連携した運動クラブ・部活動の支援

- 地域や民間のスポーツ関係団体等と連携し、運動クラブ・部活動に専門的な知識や技術を有する指導者を派遣する支援を行い、児童・生徒の競技力や運動クラブ・部活動に取り組む意欲の向上につなげます。
- 大学と連携し、運動クラブ・部活動にスポーツを専門的に学ぶ学生を支援員等として派遣し、指導体制の充実を図るとともに、学生の指導力の向上や研究活動につなげ、運動クラブ・部活動の充実した運営体制を整えます。

### 施策4 スポーツ少年団活動の活性化（基本方針3-(2)でも再掲）

#### ① スポーツ少年団の支援

- 子どもが積極的にスポーツ活動を行い、心身の健全育成や仲間との交流等を生み出す環境を整えるため、スポーツ少年団の支援を行い、活発な活動を促進します。
- 学校や地域のスポーツ関係団体等と連携し、スポーツ少年団活動の情報発信を積極的に行い、団員の確保につなげます。

### 施策5 スポーツ障害の予防

#### ① スポーツ障害に関する学習の推進

- 学校におけるスポーツ障害に関する学習を推進し、児童・生徒が自身や他者の健康や安全を保持していくことで、継続してスポーツができるよう、取り組みます。

#### ② スポーツ障害を防ぐ指導者の育成

- 子どもが継続してスポーツに取り組んでいけるよう、スポーツ障害に関する豊富な知識を持つ指導者の育成を図り、子どものスポーツ活動中の事故等の予防に努めます。

#### 【関係する主体の行動指針】

市民・家庭	<ul style="list-style-type: none"><li>● 日ごろの子どもの見守りや健康管理により、子どものスポーツ活動を支援しましょう。</li><li>● 子どもと一緒に、運動やスポーツを楽しみましょう。</li></ul>
団体・大学・企業等	<ul style="list-style-type: none"><li>● それぞれが持つ専門性を生かし、子どもが運動・スポーツに取り組むことができる機会を提供しましょう。また、学校体育や運動クラブ・部活動の支援を行いましょう。</li></ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"><li>● 子どもの体力向上や継続したスポーツ活動につなげるため、遊びを通じた運動や、様々なスポーツに取り組むことができる機会の充実を図ります。</li><li>● 学校体育や運動クラブ・部活動にかかわる課題等の把握とその解決策等について検討します。</li><li>● 地域や民間のスポーツ関係団体、大学等と学校間の連携を率先して行います。</li></ul>

## 基本方針 2. 生涯スポーツ活動の推進

<b>【目標：成人（20歳以上）の週1回30分以上のスポーツ実施率】（全体）</b> 現状値＜令和元年度＞ 56.0% 目標値＜令和7年度＞ 65%以上 ※第1期計画において同目標値に対して未達成 達成状況の把握方法 市民意識調査
<b>【目標：成人（20歳以上）の週1回30分以上のスポーツ実施率】（年齢層別）</b> 現状値＜令和元年度＞ 目標値＜令和7年度＞ 達成状況の把握方法 市民意識調査

### 施策1 ライフステージにあわせた健康づくりの推進

#### ① ライフステージに応じた事業の推進

- 子ども運動教室やシニア健康スポーツ教室等、ライフステージに応じた事業を開催し、各世代の健康づくりや交流につなげます。
- 市民の積極的な健康づくりを促進するため、健康講座やスポーツ教室への参加等、健康づくりに関する取組を行うことで特典を受けることができる「健康（スポーツ）ポイント制度\*」の創出を検討します。
- 保健師や健康運動指導士\*等と連携し、健康状態や体力に応じた事業メニューの相談や提案が行える体制づくりを検討します。

#### ② 気軽に参加できるスポーツや健康づくり事業の推進

- 「草津市民スポーツ・レクリエーション祭」等、子どもから高齢者まで、誰もが気軽楽しめるニュースポーツの大会や健康づくりの事業を開催し、身近にスポーツを感じられる機会の充実を図るとともに、世代間の交流につなげます。

#### ③ 高齢者が気軽に参加できる事業の推進

- 老人クラブが主催する「健康フェスティバル\*」等、高齢者が気軽に参加できる事業を支援し、高齢者の健康づくりの機会の充実を図ります。

#### ④ いきいき百歳体操等の普及・促進

- 「いきいき百歳体操」等の軽運動の普及・促進を図り、地域ぐるみで高齢者の介護予防を図り、高齢者の元気で健康な暮らしを支援します。

#### ⑤ ウォーキングの推進

- 「体力づくり歩こう会」等のウォーキング事業を開催し、誰でも気軽に取り組むことができるウォーキングを通じた健康づくりを推進します。
- ノルディックウォーク\*等、年齢や体力に応じたウォーキングや、ウォーキングを通じて交流ができる環境を整えます。

#### ⑥ ランニングの普及

- 「びわ湖レイクサイドマラソン」や「草津市駅伝競走大会」等のマラソン事業を通じて、ランニングの普及を図り、健康づくりに対する機運の高まりにつなげます。

#### ⑦ くさつ健康はつらつ体操等の普及・促進

- 健康推進員と連携し、草津市民歌に合わせて体を動かす「くさつ健康はつらつ体操」や、「ラジオ体操」等、音楽に合わせてリズム良く体を動かす体操の普及・促進を図り、市民の健康増進や市への愛着心の醸成につなげます。

### 施策2 「する」「みる」「ささえる」「知る」スポーツの参加促進

#### ① スポーツ活動機会の充実

- 多種多様なスポーツを体験することができる「チャレンジスポーツデー」等を開催し、市民が参加するスポーツ活動機会の充実を図ります。
- スポーツイベント等で、親子で気軽に参加できるスポーツ活動機会の充実を図ります。

#### ② 初心者向けスポーツ教室の開催促進

- 各競技団体が主体となって、その競技を経験したことのない初心者向けスポーツ教室の開催を促進し、初心者でも気軽にスポーツを体験できる機会を提供します。
- 初心者向け教室を体験した人が、そのスポーツを継続して楽しめるよう、段階的なステップアップを目的としたスポーツ教室の開催を促進し、スポーツ愛好者の裾野の拡大を図ります。

#### ③ 「する」「みる」「ささえる」「知る」様々なかたちでのイベント参画機会の提供

- スポーツイベントには、競技者・参加者として、また観戦・応援者として、更にイベントを支える運営者・ボランティアスタッフとしてなど様々なかたちで市民が参画することが可能であり、スポーツイベントにおいて少しでも多くの市民が、「する」「みる」「ささえる」「知る」といった様々なかたちで関わることにより、市民がスポーツを身近に感じられる環境を整えます。

### 施策3 食育による健康づくりの推進

#### ① 子どもの食育の推進

- 「離乳食レストラン」や「子ども料理教室」の開催等、子どもや、その親が食育について学ぶことができる機会の充実を図り、家庭等での食育を、幼少期から推進し、子どもの健康な体づくりにつなげます。
- 認定こども園・幼稚園・保育所、小・中学校での栄養指導等、児童・生徒のみならず、その家庭の食に対する意識の醸成を図り、子どもの心身の健全育成に努めます。
- 大学等と連携し、スポーツに取り組む子どもの食生活に対する指導・啓発を行い、ジュニアアスリートにかかわるスポーツ食育を推進します。

#### ② 高齢者の食育の推進

- 「離乳食レストラン」や「子ども料理教室」の開催等、子どもや、その親が食育について学ぶことができる機会の充実を図り、家庭等での食育を、幼少期から推進し、子どもの健康な体づくりにつなげます。
- 「8020運動\*（80歳で20本の自分の歯）」や「草津歯・口からこんにちほ体操\*」等、食べることを通じて、高齢者の健康な体づくりにつなげます。

### 施策4 体育振興会活動の活性化

#### ① 学区単位のスポーツ活動の活性化

- 地域における各種スポーツやレクリエーション、野外活動の普及に取り組み、スポーツ活動を活性化させることで、地域内の交流や学区間の連携を強化します。

### 施策5 総合型地域スポーツクラブ活動の活性化

#### ① 地域スポーツクラブ\*設立の支援

- 市民が身近にスポーツができる環境を整えるため、小学校等を拠点に活動する地域スポーツクラブの設立およびクラブマネジャー\*の育成を積極的に支援します。

#### ② 総合型地域スポーツクラブの支援

- 総合型地域スポーツクラブの活動基盤を強化するための支援を行い、活発な活動を促進し、市民の多様なスポーツニーズに対応したスポーツメニューの提供やスポーツができる環境を整えます。

## 施策6 障害者スポーツの推進

### ① 障害者が参加するスポーツイベントの支援・充実

- 障害者団体と連携して開催する「草津市いきいきふれあい大運動会」等の事業を推進し、支援を行うことで、障害者のスポーツ事業の充実を図るとともに、障害のある人とない人との交流につなげます。
- 「草津市民スポーツ・レクリエーション祭」や「チャレンジスポーツデー」、地域のスポーツイベント等において、障害者が参加できるプログラムを積極的に組み入れ、障害者のスポーツ機会の充実を図るとともに、障害のある人とない人との交流につなげます。

### ② 草津市立障害者福祉センター・県立障害者福祉センター等との連携による障害者スポーツの推進

- 草津市立障害者福祉センターや県立障害者福祉センター等と連携し、障害者スポーツを推進し市民の障害者スポーツへの関心の高まりにつなげます。

### ③ 障害者アスリートへの支援

- パラリンピックや全国障害者スポーツ大会等の出場者に激励金を交付し、選手の大会参加や競技へ取り組む意欲の向上につなげます。

#### 【関係する主体の行動指針】

市民・家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 様々なスポーツを実践し、自分に合ったスポーツを生涯にわたって取り組みましょう。</li> <li>● 食と健康、スポーツの密接な関係を認識し、栄養バランスがとれた食事をとるなど、家庭での食育を実践しましょう。</li> </ul>
団体・大学・企業等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● それぞれの専門性を生かし、スポーツイベントや各種事業の支援を行いましょう。</li> </ul> <p style="color: red;">それぞれのスポーツにおいて初心者を対象とした教室、及び初心者が段階的にステップアップできるような教室を開催し、未経験者がスポーツに触れる機会を提供するとともに、スポーツ愛好者の裾野の拡大、普及に努めましょう。</p>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ライフステージに応じて、誰でも気軽に取り組むことができるスポーツ機会の充実を図ります。</li> <li>● 高齢者の健康づくりを推進し、高齢者の元気な暮らしを支えます。</li> <li>● 障害者のスポーツの機会の充実を図り、障害者スポーツの広がりや障害のある人とない人との交流につなげます。</li> </ul>

(H29～R1の3か年平均)

1位：109.83点（大津市）

2位：80.05点（彦根市）

3位：63.78点（東近江市）

### 基本方針3. 競技スポーツの推進

#### 【目標：滋賀県民体育大会における草津市の総合得点】

現状値＜令和元年度＞ 57.83点（県5位）

目標値＜令和7年度＞ 95.00点 ※第1期計画において同目標値に対して未達成

達成状況の把握方法 滋賀県民体育大会成績

#### 【目標：全国大会の出場者数】

現状値＜令和元年度＞

目標値＜令和7年度＞

達成状況の把握方法 激励金の交付件数、市スポーツ協会表彰者数

#### 施策1 スポーツ協会活動の活性化

##### ① スポーツ協会の支援

- 市内の競技団体を統括するスポーツ協会の運営や活動の支援を行い、競技団体の活発な活動を促進し、競技スポーツを推進します。

##### ② 国民スポーツ大会に向けた競技力の向上

- 競技団体と連携し、選手の発掘や強化育成を図り、国スポに向けた競技力の向上につなげます。

#### 施策2 スポーツ少年団活動の活性化（基本方針1-(4)の再掲）

##### ① スポーツ少年団の支援

- 子どもが積極的にスポーツ活動を行い、心身の健全育成や仲間との交流等を生み出す環境を整えるため、スポーツ少年団の支援を行い、活発な活動を促進します。
- 学校や地域のスポーツ関係団体等と連携し、スポーツ少年団活動の情報発信を積極的に行い、団員の確保につなげます。

#### 施策3 各種大会出場者への支援

##### ① 激励金の交付

- 国際大会や全国大会、ねんりんピック等の各種大会出場者に激励金を交付し、選手の大会参加や競技へ取り組む意欲の向上につなげます。

##### ② スポーツ顕彰の実施

- 国際大会等で極めて優秀な成績をおさめた選手を「草津市民スポーツ大賞\*」で表彰するなど、スポーツ功労をたたえ、選手の競技に取り組む意欲の向上につなげます。

#### 施策4 国スポ・障スポ等に向けた将来を担うアスリートの育成

##### ① ジュニアアスリートの育成

- ジュニアアスリートを育成するため、体育協会や大学等と連携し、トップアスリートや専門的な技術をもつ指導者を招いたスポーツ教室等を開催し、選手の発掘や継続的なスポーツ活動を支援します。

##### ② 専門性を生かしたアスリートの育成

- 大学や企業等と連携し、スポーツ障害への対応や栄養指導等、それぞれの専門的観点から、アスリートの育成や支援を行う機会を創出します。

#### 施策5 国スポ・障スポ、各種競技大会の推進

##### ① 草津市民体育大会の開催

- 県民体育大会の選手選考会を兼ねた「草津市民体育大会」を種目別で開催し、選手の日ごろの練習の成果を発揮する場や選手間の交流する機会を提供し、競技力の向上につなげます。

② 各種競技大会の開催

- 「草津市武道祭」や「草津市駅伝競走大会」等、競技力の向上につながる各種競技大会を開催します。

【関係する主体の行動指針】

市民・家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草津市民体育大会等、各種競技大会に積極的に参加し、自身の競技力の向上に努めましょう。</li> <li>・競技団体やスポーツ少年団の活動について理解し、積極的な加入や支援を行いましょ。</li> </ul>
団体・大学・企業等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技力の向上や競技人口の拡大に向けて、各種競技大会の開催等、活発な活動を行うとともに、それぞれの専門的観点から、アスリートの育成や支援を積極的行いましょう。</li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ協会との連携を強化し、競技力の向上や競技人口の拡大に向けた取組により、競技スポーツを推進します。</li> <li>・国民スポーツ大会に向けたアスリートの育成に努めます。</li> </ul>

## 基本方針 4. スポーツ環境の充実

### 【目標：社会体育施設等の利用者満足度】

現状値<令和元年度>

目標値<令和7年度>

達成状況の把握方法 各施設にて実施の利用者アンケート

### 【目標：市内のスポーツ施設等の利用者数・利用団体数】

現状値<令和元年度> ●●●●人、●●●●団体

目標値<令和7年度> ●●●●人、●●●●団体

達成状況の把握方法 主な施設の利用状況記録

## 施策 1 指導者の育成・ボランティア機会の充実

### ① 指導者の育成

- (公財)日本スポーツ協会公認のスポーツ指導員\*、ジュニアスポーツ指導員\*の資格取得を目指す市民を支援し、専門的な知識を有する指導者の育成を行います。

### ② スポーツ協会との連携

- スポーツ協会と連携し、スポーツ協会がもつ多様なスポーツ活動のノウハウやネットワークを生かし、競技スポーツの指導者の確保・育成を推進します。
- 競技団体と連携し、指導者の発掘・育成に向けた取組を推進します。
- 指導者の情報を集約して、指導者人材バンクを構築し、それぞれのニーズに応じて、指導者を派遣できる体制を整えます。

### ③ スポーツボランティアの育成

- 各種スポーツイベント等の円滑な運営を図るため、スポーツ関係団体等と連携し、スポーツボランティアの発掘や育成に努め、将来の運営を担う人材の育成につなげます。

### ④ スポーツボランティア機会の充実

- 県が「(公財)滋賀レイクスターズ」に委託するスポーツボランティア支援事業「ゲームコンダクターSHIGA」を通じて、市民のボランティア登録者数を増やします。
- 競技会やイベント開催に際し、ボランティアの専門的知識を持たなくても担える運営パートナー(案内、給水、参加賞渡し等)において市民のボランティア参加を受け入れ、より多くの市民がスポーツに触れる機会を創出します。

## 施策 2 スポーツ推進委員活動の推進

### ① 地域のスポーツ活動の推進

- 日ごろから、市民のスポーツニーズの把握に努め、地域で行うスポーツ活動を積極的に支援し、多くの市民が参画する地域のスポーツ活動を推進します。

### ② 地域各種団体等との連携によるスポーツ活動の推進

- 地域の各種団体等が行うスポーツ活動に積極的に協力し、より効率的・効果的なスポーツ活動を推進します。

## 施策 3 スポーツ情報の発信

### ① ホームページやSNS\*を活用した情報発信の充実

- 各スポーツ関係団体等のホームページを充実し、それぞれが持つ情報の積極的な発信に努めます。
- 各スポーツ関係団体に対し、SNSを活用した情報発信を推奨し、多様な世代・属性の

市民に対してスポーツ情報が行きわたるよう努めます。

② 各種情報メディアを活用した情報発信の充実

- 市広報紙やメール配信サービス等の従来の情報発信に加え、各種情報メディアや各スポーツ関係団体等と連携した広報・啓発活動の実施等、市民がスポーツ情報に接しやすい環境を整えます。

施策4 社会体育施設等の整備・充実

① 国スポ・障スポに向けた施設の整備・充実

- 令和6年に滋賀県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けて、競技会場となる施設の整備や充実を図ります。

② 施設のバリアフリー化の推進

- 誰もが快適に社会体育施設等を利用できるように、施設のバリアフリー化を推進します。

③ 市民センター等の地域の身近な施設の活用

- 市民センター等地域の身近な施設で、親子体操や健康体操等の運動・スポーツ教室等を開催し、身近な施設で運動・スポーツに取り組むことができる機会の充実を図ります。

④ 公園の整備・充実

- 公園の適正な維持管理や健康遊具の設置等、設備の充実を図るとともに、公園の利用拡大を検討し、身近に外遊びや、運動・スポーツができる環境を整えます。

施策5 学校体育施設開放の充実

① 学校体育施設開放の充実

- 市民にスポーツができる場所を提供するため、学校体育施設開放の充実を図るとともに、地域スポーツクラブ等による主体的な学校開放運営を推進します。

施策6 企業・大学管理施設の有効活用

① 企業・大学管理施設の有効活用

- グラウンドや体育館等を保有する企業や大学等と連携・協力し、市民のスポーツ活動に保有施設が活用できるよう検討します。

【関係する主体の行動指針】

市民・家庭	<ul style="list-style-type: none"><li>● 身近な施設を活用し、日ごろからスポーツを楽しみましょう。</li><li>● スポーツボランティアへ積極的に参加しましょう。</li><li>● スポーツ観戦をする機会を増やし、見るスポーツを楽しみましょう。</li></ul>
団体・大学・企業等	<ul style="list-style-type: none"><li>● 指導員の資格取得等、指導員の育成に積極的に取り組み、指導力の向上に努めましょう。</li><li>● それぞれが保有するスポーツ資源を市民のスポーツ活動に活用できるよう、連携・協力しましょう。</li></ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"><li>● 指導者の育成やスポーツボランティア機会の充実を図り、スポーツを支える人材を育成します。</li><li>● スポーツ情報の収集に努め、様々な媒体を活用した情報発信により、市民がスポーツ情報に接しやすい環境を整えます。</li><li>● 社会体育施設等の適切な維持管理を行うとともに、必要に応じて施設の整備・充実を図ります。</li></ul>

## 基本方針5. スポーツによる地域の活性化

【目標：広域的なスポーツイベントの開催件数、参画数（参加者、運営スタッフ等）】

現状値<令和元年度> 開催件数：●●件/年 参画数：延べ●●●人/年  
(参加者：延べ●●●人/年、運営スタッフ等：延べ●●●人/年)

目標値<令和7年度> 開催件数：●●件/年 参画数：延べ●●●人/年  
(参加者：延べ●●●人/年、運営スタッフ等：延べ●●●人/年)

達成状況の把握方法 各種イベントの開催記録  
※全体的な数値把握が困難な場合は、把握可能なイベントを対象を絞る

### 施策1 各種関係団体と連携した取組の推進

#### ① 各種関係団体との連携強化

- 競技団体等スポーツに直接関わる団体間相互のみならず、スポーツに直接関係しなくとも専門的な知識を持つ各種関係団体との連携を強化し、より効率的・効果的なスポーツ活動を推進します。

#### ② 大学等と連携したスポーツ活動の推進

- 大学等の専門機関との教育・研究における連携やサービ斯拉ーニング\*による学生と地域の交流等により、地域のスポーツ活動を推進します。

#### ③ 企業等と連携したスポーツ活動の推進

- 民間のスポーツクラブ等と連携し、健康づくりや介護予防にかかわる事業の開催等、市民の多様なスポーツニーズに対応したスポーツメニューの提供に努めます。
- MIOびわこ滋賀や滋賀レイクスターズ等の民間のプロスポーツチームと連携し、専門性の高いスポーツメニューの提供を図るとともに、地域のスポーツイベント等への協力を行います。

### 施策2 スポーツツーリズム\*の促進

#### ① 広範囲な集客が期待できる参加型イベントの活用

- 近隣自治体等と連携し、「びわ湖レイクサイドマラソン」や「びわ湖1周サイクリング(ピワイチ)」等全国からの誘客が期待できる参加型スポーツイベントを通じて、草津市の特性を生かしたスポーツ活動やスポーツツーリズム等の取組を検討します。

### 施策3 スポーツ観戦機会の充実

#### ① YMITアリーナ等を生かしたスポーツイベントの推進

- 大規模なスポーツ大会やプロスポーツの試合、興行イベント等の誘致により、市民が国内や世界の最高峰レベルのスポーツを直接観戦できる機会を増やします。
- 試合やイベントにあわせて、トッププレーヤーによるスポーツ教室やサイン会などを開催し、市民とトッププレーヤーの交流を促進するとともに、将来的な若年アスリートの育成につなげます。

### 施策4 スポーツを通じた交流促進

#### ① 様々なかたちでのイベント参画を通じた市民の交流促進(基本方針1-(4)③の一部改変)

- スポーツイベントには、競技者・参加者として、また観戦・応援者として、更にイベントを支える運営者・ボランティアスタッフとしてなど様々なかたちで市民が参画することが可能であり、少しでも多くの市民が何らかのかたちでイベントに関わることにより、

市民の一体感の創出と交流の促進、更に地域の活性化につなげます。

② スポーツツーリズムを通じた他地域との広域的な交流促進

- スポーツツーリズムの取組等を通じた本市への来訪者のおもてなし、またイベント等の楽しみを共有することにより、他地域の方々と市民の広域的な交流を促進します。

施策5 国スポ、障スポを契機とするスポーツレガシーの創出

① 国スポ、障スポを市全体で支える機運の醸成

- 令和6年に滋賀県で開催される国スポ、障スポに、選手として出場する市民のプロフィールや活躍を広報誌やWEBサイトやSNS等で一般市民に広く紹介し、本市を代表して全国大会に挑む選手を市全体で応援しようという機運を醸成します。
- 国スポ、障スポに向けたPRイベントや、本市及び近隣自治体で開催される国スポ、障スポの種目の体験イベント等を、近隣自治体と協力して開催し、より多くの市民が国スポ、障スポを身近に感じられるよう努めます。
- 本市で開催される国スポ、障スポの競技運営に必要なボランティアを市民から広く募集し、ひとりでも多くの市民が国スポ、障スポに「する」「みる」「ささえる」「知る」の様々なかたちで関わられるようにします。

② 国スポ、障スポを通じてのスポーツ文化の醸成と継承

- 国スポ、障スポの本大会開催までの様々な取組が、スポーツに対する市民の意識の向上とともに本市におけるスポーツ文化の醸成と定着につながるよう、各取組の内容や開催結果等の情報を、市民にきめ細かく発信します。
- 国スポ、障スポ終了後も、アフターイベントの開催、スポーツ施設等の適切な管理や改善等を行い、市民が末永くスポーツに親しみ関われる環境を整えます。

【関係する主体の行動指針】

市民・家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域のスポーツイベント等に積極的に参加し、スポーツを実践しましょう。</li> <li>● スポーツイベントの観戦や応援、またイベントを支える運営者やボランティアとしても積極的に参加し、地域コミュニティの一員として、地域のスポーツ活動を盛り上げましょう。</li> <li>● スポーツイベント等を通じて、市民相互及び他地域からの来訪者との交流を深め、地域そのものを盛り上げましょう。</li> </ul>
団体・大学・企業等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の状況に応じた市民のスポーツニーズの把握に努め、より多くの市民が参加できるスポーツメニューの提供やスポーツイベント等の開催に取り組みましょう。</li> <li>● それぞれの専門性を生かし、地域で幅広いスポーツ活動が展開できるよう、支援を行いましょう。</li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域コミュニティによるスポーツを推進するため、スポーツ推進委員や体育振興会等との連携を強化します。</li> <li>● 地域スポーツクラブの設立等、市民が身近にスポーツができる環境を整えます。</li> <li>● スポーツツーリズムの取組により、スポーツを通じた地域活性化を促進します。</li> <li>● 国スポ、障スポの開催に関する市民への情報提供、競技運営ボランティア参画機会の提供などを行い、国スポ、障スポ後のスポーツ文化の定着、市民が末永くスポーツに親しみ関われる環境を整えます。</li> </ul>

## 第5章 計画の実現に向けて

### 1. 計画の推進

本計画に掲げる施策を効率的・効果的に推進していくためには、スポーツにかかわる各関係団体が、基本理念や方針等、共通認識を持った中でそれぞれに期待される役割を果たし、それぞれの活動を認め合いながら、連携・協力することが必要です。

このことから、本計画の5年間においても、引き続き草津市スポーツ推進連絡協議会を設置し、事業や組織間の連携を強化できる“ALL くさつ”の体制を構築することで、各基本方針に基づく施策の具体的な事業を効率的・効果的に取り組み、課題解決や施策を協働で推進します。

### 2. 計画の進行管理

計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、見直し（Action）のPDCAサイクルに基づき、必要に応じて具体的な取組内容や予算の見直し等、計画の進行管理を行います。

基本方針ごとに設定した目標の達成に向けて、庁内関係部署において施策の評価を行うとともに、草津市スポーツ推進審議会において、本計画の点検・評価を審議し、審議結果を次年度の施策展開に反映させ、各基本方針の目標達成に向けて、効果的・効率的に取り組みます。

また、「第6次草津市総合計画」や「草津市健幸都市基本計画」、「草津市教育振興基本計画第3期」の点検・評価とも整合性を保ち、それぞれの計画に掲げる目標の達成につなげます。

